

5 主な化学物質の用途と有害性

今回の報告で、排出量が多かった化学物質の用途や有害性は次のとおりです。

| 物質名 | 主な用途 | 人に対する有害性 |
|------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| トルエン | 合成原料（合成繊維、染料、火薬（TNT）、香料、有機顔料、可塑剤、ガソリン成分、溶剤（塗料、インキ）） | 長期間にわたって体内に取り込んだ結果、運動障害や記憶障害などの神経系の障害のほか、腎臓、肝臓や血液への障害が認められます。シックハウス症候群との関連も疑われています。 |
| キシレン | 合成原料（テレフタル酸、染料、有機顔料、香料、可塑剤、医薬品）、ガソリン・灯油成分、溶剤（塗料、農薬） | 高濃度で、眼やのどなどに対する刺激性や、中枢神経へ影響を与えることが報告されています。シックハウス症候群との関連も疑われています。 |
| エチルベンゼン | 合成原料（スチレン）、溶剤 | シックハウス症候群との関係が疑われています。動物実験で肝臓及び腎臓重量の増加、肝細胞などの腫れが報告されています。 |
| 塩化メチレン | 洗浄剤（金属脱脂）、溶剤（重合用）、エアゾール噴射剤、インキ成分、ペイント剥離剤 | 高濃度で、吐き気、だるさ、めまい、しびれなどの神経系の症状が報告されています。動物実験でがんの発生率の増加が認められ、人に対する発がん性が疑われています。 |
| ノルマル-ヘキサン | 溶剤（重合用、接着剤、塗料、インキ） | 長期間取り込み続けた際の影響については、頭痛、四肢知覚異常、筋力低下などが報告されています。動物実験で胎児への体重低下が認められています。 |
| テトラクロロエチレン | 溶剤（ドライクリーニング、医薬品、香料、塗料）、洗浄剤（原毛用）、合成原料（代替フロン） | 高濃度で、肝臓や腎臓への障害が認められることがあると報告されています。低濃度で、頭痛、めまい、眠気などの神経系への影響が報告されています。動物実験で肝細胞がんの発生が報告されています。 |

出典：「PRTRデータを読み解くための市民ガイドブック」
「化学物質ファクトシート 2012年度版」
環境省環境保健部環境安全課